

第1回 化審法施行状況検討会 意見

2015年8月31日

ジャーナリスト・環境カウンセラー

崎田 裕子

検討会の初回ですが、主催行事と重なっており、申し訳ありませんが、欠席させていただきます。

欠席にあたり一点、今後の検討に関して要望させていただきます。

化審法の施行状況の検討にあたり、化学物質のライフサイクル全体でのリスク削減に向けた取り組み状況を検討することも重要と考えます。

そのためには、事業者だけでなく、消費者・市民の役割の認識や、消費選択や適切な利用、廃棄などの役割を実践できるような情報共有も必要となってきます。

化学物質に関する情報がサプライチェーン全体を通じて消費者まで届くように、情報伝達の取り組みについても確認、検討できるよう準備をお願いしたいと考えます。

また、現状でも事業者間の川上と川下の情報共有が重要とされており、その状況も確認、検討できるよう準備をお願いしたいと考えます。

どうぞよろしく申し上げます。